

第1回教育会議（令和5年6月27日開催）、
第2回教育会議（令和5年9月14日開催）、
第3回教育会議（令和6年2月29日開催）における委員からのご意見等

○体力向上支援事業について

- 意欲をもって身体を動かし、運動を好きになるためには、教える側の工夫が必要。
- 運動の機会を設けるのは大事。今年度回数を増やしているとのことだが、さらに回数の増について検討してほしい。
 - 受託事業者は、運動のコツを理解し成功体験を積ませることが、運動を好きになることにつながるとして事業を実施しており、実施後には多くの児童から「楽しかった」と声をいただいているところです。実施回数については、学校や教育会議委員からの意見を受けて増やしたところですが、引き続き、学校のニーズに応じた予算の確保に努めます。
- 教員にとっても、運動の教え方を学ぶ機会となっており、好評と聞いている。今後もアンケート結果を活かしながら、より良い事業の発展へつなげていってほしい。

○教員サポート講習会について

- 教員の働き方改革が進められる中で、区からのサポートについても充実させてほしい。
- ICTのスキルアップを支援する方を学校に派遣してほしい。
 - 引き続き学校の要望に基づきながら、教員サポート講習会を実施してまいります。

○防災ジュニアリーダーについて

- 中学生が意欲をもって、防災ジュニアリーダーに入ることができるよう、地域防災リーダーの訓練に参加してみてもどうか。
 - 防災ジュニアリーダーは、若年層に防災意識を高めてもらう、地域防災の貴重な担い手育成であると考えており、当然のことながら、燃え盛る火災の消火に向かってもらったり、崩落の危険のある中での救助に関わってもらうなどの危険任務にあたっていただくわけではありません。しかし、地域で災害救助の最前線を担って訓練を受けている地域防災リーダーの活動や訓練内容を知ることは彼らの中の防災意識がより向上する可能性もありますので、研修の連携については、消防署ともよく相談してまいります。

○音楽体感事業について

- こどものうちから生の演奏を聴くことはとても大事。
- プロの音楽家でなくても、近隣の高校などと連携し、演奏に来てもらえば、こどもたちにとって良い刺激になるのでは。
- 令和5年度より中学校へ拡充しているが、アンケート結果を見ると、肯定的な意見の割合は変わらないが、小学生に比べて、「とても楽しかった」と答える割合が低い。中学生についても「とても楽しかった」と答える割合が高くなるよう工夫して行ってほしい。

○スクールカウンセラーの配置について

- スクールカウンセラーの十分な人員確保は必要であり、最終的には各小中学校にスクールカウンセラーが常駐することをめざしてほしい。ただ現実的な対応として、1名増員することにより小学校の派遣状況にバラツキがあることを解消してほしい。
- 利用者が少ない区役所での学習支援事業の予算をスクールカウンセラー増員のための予算とすることも検討されているようだが、利用者が来年度以降も学習支援の利用を希望する場合は対応してあげてほしい。

→ スクールカウンセラー事業は、大阪市全体の市立小中学校を対象にカウンセラーを派遣し、不登校児やその保護者などの相談に応じることを目的に、大阪市こども青少年局が実施している事業であり、令和3年度からは全中学校に加え、全小学校へカウンセラーが派遣されております。

阿倍野区の小学校では、2週に1回と3週に1回の頻度で派遣されておりますが、学校からは十分な派遣頻度ではないとの意見があるため、1名ではありますがカウンセラーを増員することにより、全ての小学校が2週に1回の派遣となるようにしたいと考えております。

スクールカウンセラーの増員については、こども青少年局への要望を継続しながら、区としても予算の確保に努めます。また、来年度以降も区役所での学習支援の利用が望まれる場合には、存続する居場所事業の活用やボランティアの方々の協力を得るなどにより、希望に添えてまいります。

○通学路の安全対策について

- 引き続きできることは速やかに対応してほしい。
 - 学校、地域、警察、工営所とともに協力して対応してまいります。
- また、丸山小学校の道路上へのガードレール設置については、道路の幅員を考慮すると、難易度が高く実現性が乏しいとの見解であったため、それに代わる対策として、道路に沿った形で学校敷地内に通路を設ける案が教育委員会より提示されました。
- 今後、教育委員会において予算化や設計などの手続に入りますので、できる限り早く進められるよう働きかけを行ってまいります。

晴明丘南小学校については、令和5年2月にグリーンラインの設置が完了しましたので、終結とさせていただきます。

○小学生英語等支援事業（旧 グローバル人材育成事業）について

- こどもたちは、この英語レッスンをとても楽しんでおり、待ち遠しい様子が見受けられる。学校でも貴重な時間と考えているので、今後も続けていってほしい。
- 英語を話したいと思えるきっかけとして、まずは異文化理解を深めるようなレッスン内容にしてみてもいい。興味をひくことを目的とするなら、小学生英語レッスンの回数を増やすことも視野に入れてほしい。
 - 令和6年度からは利用が少なかった中学生のスピーチコンテストを中止し、小学生の英語レッスン・英語発表会に注力し、小学生のうちから英語を好きになってもらう機会となるよう、引き続き検討してまいります。

○がんばる先生の広報について

- 教職員不足が喫緊の課題として挙げられているので、がんばる先生を広報する際は、先生という職業が魅力あるものだと伝わるような内容にしてほしい。
 - 以前の教育会議にて、「日々努力なさっている先生を紹介して魅力発信をしてみてもいい」とご意見をいただき、始まった広報事業となります。引き続き、「やりがい」等を中心とした内容を掲載し、教職員をめざすきっかけとなるよう進めてまいります。